

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のためなし
宿舍費	9,224.32	1,383,645 円	寮費(Red Jacket Quadrangle)
食費	6100	915,000 円	Flex10、自炊、外食
図書費	81	12,150 円	教科書代
学用品費	0	0 円	なし
携帯・インターネット費		42800 円	Jethro Mobile
現地交通費	50	7,500 円	たまに Uber(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100	15,000 円	
被服費	60	9,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費		125,090 円	形態: 明治の保険+UB の保険
渡航旅費	1266	190,000 円	
ビザ申請費	377	53597 円	ビザ申請+SEVIS
雑費	0	0 円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:バッファロー・ナイアガラ国際空港 経由地:ダラス・フォートワース国際空港・シャーロット空港	
復路 出発地:バッファロー・ナイアガラ国際空港 目的地:羽田空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:American.Airlines 料金:102,850 円	
復路 航空会社:American.Airlines 料金:667ドル	∴合計:19 万
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: American.Airlines)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Ellicott Complex・Red Jacket Quadrangle)	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学のメールを通じて	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>私がいた寮では3人部屋でトイレやシャワー、キッチンなどは同じ階に住んでいた人と共同のスペースでした。人によってはルームメイトがものを盗まれたという友人もいたが、私のルームメイトは2人もやさしく仲良く接してくれました。また冷蔵庫などは自分で買いかルームメイトが持ってこない限りないため、自炊を多めにしたい場合はアパートを探すのもいいと思いました。毎日大学で食事を済ますと値段は高く味も飽きてくるため、学期後半では自炊をしたくなります。自分の部屋やルームメイトとうまくいってない場合、1年間学ぶ人は半学期でルームチェンジを行えます。私は Ellicott の Red Jacket Quadrangle という寮に住んでおり、不便な部分もありましたが、なんとか楽しく過ごしていました。校内の寮やアパートは締め切りが早く先着順なので随時大学からのメールをチェックして、速い段階から見しておくことをおすすめします。また、学部によって授業の場所が異なるので、寮を選ぶ際は自分の授業の場所がどこにあるのかも確認した方がいいです。(South-North 間は学内バスが出ていますが15分もかかり、かなり遠いため)</p>	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

校内は安全ですが、South Campus ではダウンタウンに近く危険だということを聞きました。また、電車などの地下鉄は一番危険だということを聞きました。これらはすべて現地で知り合った友人からの情報です。私は授業と寮がすべて North にあり、South やダウンタウンに行く機会がほとんどなかったため特に危険なことは起こりませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Wifi は寮も学校もすべて同じものが使えて、インターネット接続は強く快適でした。また、VPN を使いたい場合も学生であれば無料で使えます。インターネットがないときは私は jethro mobile を 10 か月分渡航前に契約していました。この接続はとても不安定なことがほとんどでした。ほとんど学校の Wifi で足りるため、そこまで多くのデータ契約をする必要はない気がしました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本にいた際に米ドルを保持していたため、デビットに移して利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本のお菓子や商品はアメリカでは高いため、持っていくことをおすすめします。飲みなれた薬、洗面用具、洗濯ネット、冬服

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: オンライン授業は1つまでしか履修できない	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
CSE111 Introduction to Quantitative Analysis	定量分析入門
科目設置学部・研究科	Computer Science and Engineering
履修期間	1 semester
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式・ラボ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50(ラボの 110)分が 3(ラボが 1)回
担当教授	Dennis Murphy
授業内容	ウェブ技術と基本的なプログラミングを、データ量の多い問題の解決策を計算し、伝えるためのツールとして使用します。基本的なアルゴリズム技術を使用して、データの定量分析を行います。
試験・課題など	学期を通して、二回の間試験と 1 回の期末試験がありました。また、定期的にクイズとプロジェクト課題が 6 個ほどありました。
感想を自由記入	この授業の使用言語は主に Python でした。ハードウェアからソフトウェアまでの基礎的な知識を養うことができます。簡単なウェブ作成も行いました。講義で出された課題などをラボの時間に進めてくれるので特に難しいことはありませんでした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CSE 115 Introduction to Computer Science I		コンピューター・サイエンス入門 I	
科目設置学部・研究科	Computer Science and Engineering		
履修期間	1 semester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式・レジテーション・ラボ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50(ラボの 110)分が 3(ラボが1)回		
担当教授	Eric Mikida		
授業内容	コンピュータサイエンスの基礎を学び、プログラミングスキルを応用して問題を解決し、人間の効率を高めることに重点を置きます。		
試験・課題など	使用言語は Python でコーディングの課題が毎週出されます。また、ラボの時間ではコードのアルゴリズムを問われるトレーニングクイズと 4 回の試験があります。学期末には選択問題のみの試験が出されました。		
感想を自由記入	この授業では Python の基礎から学ぶことができます。プログラミングの経験は問われないため、大学 1 年次に取得する人がほとんどです。私はプログラミング経験があったため課題も授業内容も比較的簡単に感じました。英語が苦手な人はこの授業からはじめてみるのもいいのではないでしょうか。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CDA 215 Programmng for the Web 1		ウェブプログラミング1	
科目設置学部・研究科	Computational Data-Enabled Sciences		
履修期間	1 semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	リモート(オンデマンド)(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50~120 分が 1 回		
担当教授	James Gerland		
授業内容	HTML5、CSS3、JavaScript を使用し、ユーザビリティエンジニアリングと情報アーキテクチャの原則を採用した Web サイトを作成します。		
試験・課題など	試験はなく、毎週出される動画とそのトピックに沿った内容で自分のウェブページを作っていきます。学期はじめにその学期の授業動画はすべて出されるのではやめに進めたい方は自分のペースで進めることができます。また、毎週その週のトピックに関連したクイズ(回答回数∞)が出されます。		
感想を自由記入	ウェブページの作成に興味があったので基礎から学べてよかったと思います。授業はすべてオンデマンドだったので、他の授業で課題が多かったときなどは調整しながら進めることができました。この授業の応用を取りたい方はウェブプログラミング2という授業もあるので、取ってみることをおすすめします。また、教授は質問に対して優しくフィードバックをいつもくれるところが良かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
JPN 496TUT Internship Practicum		日本語会話インターンシップ実習	
科目設置学部・研究科	Linguistics		
履修期間	1 semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回		
担当教授	Chihiro Heckman		
授業内容	日本語を学んでいる現地学生に日本語で会話する機会を増やすための会話セッションと日本文化に興味のあるひとたちに日本文化を伝える交流会という2つのイベントを企画します。		
試験・課題など	会話セッションおよび交流会の企画、指導案作成と実施。それぞれのイベントごとの振り返りレポート。学期末の最終レポート。		
感想を自由記入	取得単位が足りなかったためこの授業を履修してみました。現地の日本に興味がある学生と交流をもつことができ、現地の文化も学ぶことができます。会話セッションや交流会は主に現地生をメインとしているため、ほとんど日本語で行われます。また、会話セッションや交流会が行われるのは毎週ではないため、自分の専攻の授業に余分がある人はとってみると交流の幅も増えるのでおすすめです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CSE 116 Introduction to Computer Science II		コンピューター・サイエンス入門 II	
科目設置学部・研究科	Computer Science and Engineering		
履修期間	1 semester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式・ラボ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50(ラボの 110)分が 3(ラボの 1)回		
担当教授	Paul Dickson		
授業内容	分析される設計上の決定には、データ構造の選択や、カプセル化、ポリモーフィズム、継承などのオブジェクト指向テクニックが含まれます。		
試験・課題など	毎週のトピックに沿ったコーディング課題が出されます。ラボではコードのアルゴリズムを問われるトレーシングクイズとその週に学んだことを問われる TA との 1 対1の口頭試験(2 回挑戦可能)が毎週あります。期末試験ではトレーシングクイズとインタビューの三回目の挑戦がある人のみあります。		
感想を自由記入	使用言語は Java でオブジェクト指向など Java の基礎から応用を少し学ぶことができます。課題やインタビューは少し大変なので事前に準備していくことで合格できました。わからないことは Piazza と呼ばれる教授や全生徒が参加可能な掲示板に気軽に質問ができるのでたくさん活用しました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CSE 191 Introduction to Discrete Structures		離散構造入門	
科目設置学部・研究科	Computer Science and Engineering		
履修期間	1 semester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式・ラボ(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50(レジテーションが 50)分が 3(レジテーションの 1)回		
担当教授	Nasrin Akhter		
授業内容	論理、証明、集合、関数、関係、再帰、再帰関係、数学的帰納法、グラフ、木、基本的な計数理論、正規言語、文脈自由文法などが含まれます。		
試験・課題など	学期を通して 1 回の中間試験と 1 回の期末試験があります(カンニングペーパー持ち込み可)。毎週金曜日のクイズと数回の課題が出されました。		
感想を自由記入	出欠はなく、講義動画も録画されているため何回も見直すことができました。離散数学の基礎から応用までを学ぶことができます。授業をしっかりと理解していれば特に問題はないと思います。試験もカンニングペーパーが持ち込み可だったため、主に証明のやり方などをメモしておけばいい成績は取れます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
CSE 250 Data Structures		データ構造	
科目設置学部・研究科	Computer Science and Engineering		
履修期間	1 semester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式・レジテーション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50(レジテーションが 50)分が 3(レジテーションの 1)回		
担当教授	Eric Mikida		
授業内容	高水準言語でのプログラミングプロジェクトを通して、問題を解決する際に適切なデータ構造を選択することの重要性を説明します。		
試験・課題など	学期を通して、2 回の中間試験と 1 回の期末試験があります。コーディングの課題と手書きの課題が週によって交互にだされます。試験はカンニングペーパー 1 枚持ち込み可。		
感想を自由記入	この授業の前提条件として CSE116 や CSE191 を履修しておく必要がありますが、私は同じ学期に取得してしまったため、内容が少し難しい部分が多くありました。使用言語は Java です。この授業は特に高度なデータ構造を学ぶことができますが、前提条件の授業を始めに取得もしくは Java についての理解度を事前に深めておくことをお勧めします。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
MTH 142 College Calculus 2		大学微分積分学 2	
科目設置学部・研究科	Mathematics		
履修期間	1 semester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式・レジテーション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に50(レジテーションが50)分が3(レジテーションの1)回		
担当教授	Kimberly Javor		
授業内容	超越関数の微分と積分、無限数列、級数と冪級数、積分法、解析幾何学の追加トピック。		
試験・課題など	学期を通して2回の間試験と1回の期末試験があります。課題は何回か出され、クイズが計4回ほどあります。		
感想を自由記入	MTH141 の続きにあたる授業です。主に微積分学についての応用の授業です。試験前は練習問題が出されるので、それが解けていれば、その問題よりも難しいことは試験で問われません。微積分の基礎ができていれば簡単な授業でした。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
マイナビ、ワンキャリア、リクナビ
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
IT 系、情報、通信、コンサルタント、金融
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
3 年次にアメリカに留学に行く方は是非 11 月に開催されるボスカリに参加されることをおすすめします。私は留學段階まだ二年次なので参加できませんでした。2 年次に留学に行く方はアメリカに来てみて自分のやりたいことが見つかるかもしれません。CS を専攻する方は特に UB では多くのハッカソンなどのイベントなども開催されているので参加して開発経験などを積むことで就活の履歴書に書くことができると思います。理系の就活は開発経験が問われることが多くあります。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	TOEFL 受験
	10 月 ~ 12 月	出願
留学開始年	1 月 ~ 3 月	奨学金準備
	4 月 ~ 7 月	Housing手続き、VISAの手続き、航空券の取得、健康書類の取り寄せ
	8 月 ~ 9 月	携帯関連の準備、出発
	10 月 ~ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	帰国
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私がこの留学先を選んだ理由は主に2点あります。1つ目はグローバル化していく世の中において英語を学び、アメリカで世界で活躍する最先端の知識や技術を身に付けたいと考えたからです。これに関しては、あくまでも英語は留学前の段階から話せるようにしておくことで、語学留学ではなく英語で最先端の技術を学ぶことを念頭においていました。2つ目としては、ニューヨーク州立大学バッファロー校(以下 UB)ではコンピューターサイエンスの授業がここ最近で高い成長を遂げたことにあります。3つ目に関しては寒さには耐えられる自信があったからです。以下では私が留学を通して、知っておきたかったことや気になったことを書いていきます。

UBはニューヨークに位置しますが正確にはカナダとの国境に近く、都市までは非常に遠いです。しかし、ナイアガラの滝などの観光地は車で20分ほどで、カナダにパスポートとDS-2019を持っていくことで簡単に入国ができます。また、気候は寒いときに-5℃を下回るためダウンやヒートテックなどは持って行くことをおすすめします。

渡航して間もないときは、何から始めればいいのかどこに行けばいいかわからないことや不安がいっぱいあると思います。まずは、オリエンテーションに参加することで新しい情報が多く手に入れます。また、そこに来てる生徒もすべて同じ感情だと思うので、ぜひ自分から話しかけて少しでも知人や友人を増やすといいと思います。大学が始まったころは多くのイベントが開催されており、オリエンテーションで知り合った人と行く人が多くいました。(私は人混みが少し苦手だったので誘われられない限り行きませんでした。)私はキャンパスを散策して自分の授業場所などを事前に把握して当日落ち着いて望めるようにしていました。また、来てすぐはまだ夏季休業期間だったため、キャンパス内のお店がほとんどやっていませんでした。食料などはUBEREATSなどで寮に食事を届けてもらうか、UBERを使ってどこかに食べに行くかをおすすめします。さらに自炊をすることで断然節約ができるため、時間に余裕がある方は是非してみてください。AmazonPrimeStudentをこちらで入会することで半年間送料なども無料で使えてとても便利です。学校から週に一回出ているショッピングシャトルもあるため、それもよく使っていました。

治安については、大学のキャンパス内では特に問題はありませんでした。また、私の寮はNorth-Campusにありましたが、South-Campusに住むという方はダウンタウンに近いので、夜に出歩くのは少し気を付けた方がいいかもしれません。図書館で勉強したり、友達と遅くまで遊んだ日は12時過ぎてから寮に帰宅することがありましたが、特にキャンパス内であったため、安心して過ごせました。

UBでは日本語の授業や日本に関連したイベントも定期的に行われています。これらを通して、日本が好きな現地の学生とも交流をすることができます。詳細については、留学が決まってから日本人留学生宛てに大学からe-mailを通じて連絡が来ました。私はこのイベントを通じて知り合った現地の学生と仲良くさせていただいてました。特によかったと感じた点としては、英語でも会話ができあまりにも通じなかったときに日本語を多少理解してくれる人がいたため、両方の言語で会話ができることができました。単語の説明はどうしても言葉の壁によって伝わらないことがあるため、英語と日本語を両方使えることでインプットとアウトプットがよりスムーズに行うことができました。

授業に関しては、Computer Science専攻(以下CS)は他の学部と違ってライティングやリーディングといった課題が少ないように感じました。日本では座学が多いですが、UBでは実践的な授業が多く課題は授業ごとに決まったプログラミング言語を用いてコーディングの課題が多く出されました。数学系の授業も日本と大きく違ったところは試験の際に公式はほとんど試験用紙に書かれていたため、暗記をしなくても大丈夫です。大まかな流れとして、Lectureで講義を受け、Recitationでレクチャーの復習をし、Labで実際にコーディングをするみたいな感じです。授業でわからないことがあれば、授業ごとに学習支援室のようなOffice Hoursというものが設けられているため、教授や学生TAに気軽に聞くことができます。

授業以外の私の過ごし方は、UBではゲーミングルームやジムが学生であればすべて無料で利用することができ現地の友達に週に3回ジムでトレーニングに付き合ってもらったり、前期ではゲーミングルームでスイッチやプレステなどを遊んだりすることが多くありました。後期に入り難しい授業をとったため、勉強時間に時間を多く費やしていましたがそれでも金曜の授業終わりや休日に友達のアパートで鍋パーティなどをしていました。大学のスポーツの試合なども無料で観戦することができ、大規模な試合はとても見どころです。

最後に留学後についてのお話です。私の周りの日本人留学生の多くは3、4年だったため就活と被っている人も多くいました。3、4年で留学に行く方はボスキャリアに行く人が多くいるようでした。2年から留学に行くCS専攻の方にアドバイスとしては、大学でやっているハッカソンなどの開発イベントに参加してみたり、自分で何か開発経験を積んでおくことで、就活などの学チカに留学にプラスアルファで書けるとおもいます。実際私も授業についていくことができ、少し余裕が生まれたので、就活を終えた方に就活についてのアドバイスを聞いたり、開発の手伝いをしてもらってました。日本を離れて生活することで、新しい視点から物事をとらえたり、考えにより柔軟性をもつことができるのではないのでしょうか。時間がたつにつれて自然とこちらの環境にも慣れてきます。全力で楽しんで留学頑張ってください。